

紀北分院外来診療医担当表

		月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	2診		総合診療 廣西	糖尿外来 河井	総合診療(循環器) 羽野	総合診療 廣西 (第2週休診)	認知症センター 廣西 (第2週休診)	総合診療(認知症センター) 廣西 (第3週休診)		総合診療(循環器) 羽野	
	3診	糖尿外来 河井		呼吸器 中西		泌尿器外来 藤井 (2-4週)	肝臓 佐藤 ※再診のみ			消化器 川口	
	4診		皮膚科 神人(1-3週) 野田(2-4週)		脳神経内科 梶本		脳神経内科 梶本		総合診療 野田	皮膚科 酒井(1-3週) 瀧脇(2-4週)	認知症センター 梶本
	新患5診	和田		川口		応援医師			有吉		寒川
	外科診					リウマチ・膠原病 [第2週]				櫻井 [第3週を除く]	
脳外	6診	大岩	認知症センター 大岩		上野 [第1週]	大岩		大岩			大岩
整形外科	7診	脊椎専門診 (交代制)		整形外科 中川	足の専門外来 浅井[奇数週]	整形外科 前田		整形外科 佐々木		整形外科 中川	
	8診	整形一般		整形外科 佐々木		整形外科 太地		整形外科 太地		整形外科 前田	
眼科	1診	石川		岡田	雑質 岩西 住岡 [第1週] [第2週] [第3週]	石川	子ども外来 石川	小門	石川	岡田	術前外来
	2診			黄斑外来 小門	吉田					小門	
小児科		青柳		樋口		青柳		青柳		青柳	
リハビリテーション科		石田		石田				石田		石田	
		南方			南方	南方		南方		南方	

診察受付 月曜日～金曜日：8時45分～ 再診で予約のある方は指定時間（予約表の記載時間）
 *当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。
 紀北分院 予約センター（受付時間 8時45分～15時）
 TEL 0736-22-4600
 紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（受付時間 9時～17時）
 TEL 0736-26-3004

最新の情報は紀北分院ホームページにも記載しています。



2024年1月1日現在



あじさい

vol.45
2024



分院長
廣西 昌也

新年をむかえ、地域の方々にとことご挨拶申し上げます。2019年にはじまった新型コロナウイルス感染症の流行が今年の5月から5類感染症となり、やっと一区切りついた感がございます。

流行が最盛期には連日発熱外来に何十人という患者さんがやってこられ、入院患者さんもほぼ100%がコロナ患者であった時期もございましたが、幸い多くの方がワクチンを接種され、また特に変異ウイルスが弱毒化したことから一時のような混乱からは脱することができました。

県内においても有数の規模でコロナ患者さんの治療を担当することになりましたが、通院される患者さんをはじめ、関連機関や施設の方々など多くの方のサポート、励まし

をいただいたことをあらためて御礼申し上げます。

とはいえ、コロナがある程度落ち着いたのも束の間、ウクライナや中東でひどい戦争が起こってしまい、物価の上昇や物品の調達不足など生活に直結する深刻な問題も出てきました。

病院においても診療機材や薬剤の高騰、さらには患者さんにお出しする薬が品不足で入ってこないといったことも生じています。

紀北分院では、おいでいただく患者さんにご不便をかけないように、できる限りの対策を講じていく所存ですが、予測外のご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんので、その節はどうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

年明け早々暗い話になりましたが、分院では新棟の建設に向けてようやく工事が開始いたしました。工事の具合でしばらく駐車スペースが狭くなったり、工事車両が通るなどのご不便をおかけいたしますが、完成いたしますとリハビリスペースがこれまで以上に広くなり、より多くの方にリハビリテーションを受けていただけるようになります。

脳血管障害や整形外科疾患などで運動機能が低下してしまった方々にはより貢献できるようになるかと思えます。新館が完成しますと、数年あとにはなりますが現在の建物の改修も控えており、より地域の方々にお役に立てる分院としてリフレッシュする予定です。令和六年もどうぞ分院をよろしく願いたします。

「かるて師匠の健康高座」

紀子：先生、アルツハイマー病の新しい治療について教えてください。
 可流亭：2023年の暮れに発売されたレカネマブという新しい薬のことだね。
 紀子：それはどういった薬なんですか？
 可流亭：認知症の原因としても最も多いのがアルツハイマー病なんですけど、アルツハイマー病の患者さんの脳にはアミロイドという異常な物質が溜まってくるんだよ。レカネマブはこのアミロイドを除去してくれるんだ。
 紀子：へえ、じゃあレカネマブがアミロイドを取り除いてくれたらアルツハイマー病は治ってしまうんですか？
 可流亭：残念ながら、完治させることはできない。この薬を投与することによって病気の進行が三割弱遅くなることがわかっているんだ。また薬を使えるのは物忘れ軽度の人だけで、認知症が進行した人には使えないんだよ。また、また、動脈硬化が原因でおこる血管性認知症のようなアルツハイマー病以外の物忘れにも使ってはいけないうことになってるんだ。
 紀子：飲み薬なのかな？
 可流亭：いや、患者さんには少し負担になるんだけど、月に2回、それぞれ1時間かけて点滴するんだ。

紀子：月2回かあ、ちょっと面倒かもしれませんね。でも病気の進行が遅くなるならやってみる意味はありそうですね。副作用はないんですか？
 可流亭：レカネマブは、アミロイドを攻撃するとき炎症を起こすことがあって、脳が腫れたり、出血したりすることもあるとされているね。
 紀子：出血かあ。脳出血って怖いんじゃないんですか？
 可流亭：高血圧が原因で起こる脳出血とは違って、レカネマブで起こる出血は、数ミリの小さな出血のことが多くて、大きな症状はそれほど起こらないとは言われているよ。でも効果だけを期待するのではなくて、副作用についてはご家族といっしょにちゃんと理解した上で薬は使わないといけないうね。
 紀子：レカネマブって高いんですか？
 可流亭：実は薬の値段は年間300万円弱必要なんですけど、高額療養費という制度を使うと上限で15万円弱で使えるそう。それでも高いけどね。だから薬の効果と、点滴する面倒さとか、あるいは副作用をよく考えて薬を使うかどうかは判断しないといけないうんだよ。

分院長・内科教授 廣西昌也



【お知らせ】 紀北分院広報誌「あじさい」は春夏秋冬の年4回発行します。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219

TEL0736-22-0066 (代) FAX0736-22-2579



2024年1月発行



認知症疾患医療センターのご案内

認知症かな？と思ったら

- 物忘れが気になる
- 認知症かもしれない
- 認知症に効果のある薬について聞きたい
- 最近意欲がなくなってきた

- 精神的に不安定になってきた
- 家族が介護する中で困っていることがある
- 認知症の治療を行う病院の情報が欲しい

認知症に関する受診や相談を受けています
 希望される方はまずお電話ください
 相談専用ダイヤル 0736-26-3004
 【受付時間】 平日：9時00分～17時00分

【掲載内容】

- ・分院長のご挨拶
- ・世界骨粗鬆症デー in 紀北分院
- ・世界糖尿病デー in 紀北分院
- ・紀北分院クリスマス会2023
- ・認知症疾患医療センター医療・介護従事者向け研修会
- ・車椅子を寄贈していただきました
- ・外来診療医担当表
- ・かるて師匠の健康高座



■ 世界骨粗鬆症デー in 紀北分院



10月20日は世界骨粗鬆症デーで、院内で啓発活動を行いました。ポスター掲示やパンフレットを配置し、食事に関することや運動に関することや、整形外科医師による啓発ビデオを流し、情報を提供しました。

骨粗鬆症とは、骨の量（骨量）が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。日本には約1280万人の患者さんがいるといわれており、高齢化に伴ってその数は増加傾向にあります。（60歳代女性で5人に1人、70歳代女性で3人に1人、80歳代女性で2人に1人）

骨粗鬆症になっても、痛みはありません。しかし、転倒などで骨折しやすくなります。

骨折が生じやすい部位は、背骨（脊椎圧迫骨折）、手首の骨（橈骨遠位端骨折）、太ももの付け根の骨（大腿骨頸部骨折）などです。骨折が生じると、その部分が痛く動けなくなり、寝たきりや、認知症の原因にもなります。大腿骨近位部骨折後5年死亡率は51%と高い死亡率になっており、「骨卒中」とも言われています。

和歌山県の骨粗鬆症検診率は全国ワースト2位という結果です。「骨」の健康診断を受けてみませんか？

当院では骨粗鬆症の検査を行っています。次のような症状のある方は、ぜひ、整形外科外来にご相談ください。



■ 世界糖尿病デー in 紀北分院

11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、「世界糖尿病デーIN紀北分院」を15日に開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止していましたが、今年は4年ぶりの開催となりました。紀北分院では、糖尿病サポートチームとして、糖尿病専門医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師が、糖尿病を持ちながら生活する患者さんの治療や療養生活について支援しています。このイベントは、地域の皆様が糖尿病について正しく理解し、予防や治療継続の重要性について知っていただく機会となることを目的としています。

当日は約30名の方が参加されました。イベントでは、各職種の担当者が糖尿病に関する講演を行いました。会場では糖尿病に関するパンフレットを展示し、相談コーナーを設置しました。

また、希望者には血糖測定を行い、普段の血糖値を知っていただく機会を設けました。

参加された方からは、「血糖値を知ることができて良かった」「食事に悩んでいたけど、パンフレットを参考にしてみる」などの意見が聞かれました。

このようなイベントを通して、多くの方に糖尿病についての理解を深めていただくきっかけになればと考えています。

糖尿病に関する食事や薬、合併症、フットケアなど、療養生活での困り事や悩みなどがあれば、いつでも主治医や看護師にご相談ください。



■ 紀北分院クリスマス会2023

3年ぶりに紀北分院クリスマス会を開催しました。患者さんの笑顔を見ることができ、スタッフも温かい気持ちになり、戻りつつある日常に喜びを感じています。



■ 認知症疾患医療センター医療・介護従事者向け研修会

11月26日に、橋本医療圏の医療・介護従事者を対象に研修会を開催しました。

和歌山県警察本部交通部運転免許課の運転及び高齢運転者等支援室の方に、「認知症に対する対応や取り組み」について講義していただきました。講義終了後、地域の高齢運転者の免許更新や移手段等の現状と課題について話し合いました。



■ 車いすを寄贈していただきました

きのかわ支援学校中学部の生徒さんたちが集めた空き缶のプルタブ約700キロが車いす1台と交換され、12月5日、当院に寄贈されました。

同日、同校の体育館で贈呈式があり、当院の松岡淑子看護部長から「小さなプルタブを700キロも集めるのは本当に大変なこと。患者さんや病院職員の皆さんの努力を伝えたい。」と感謝を述べました。

また、紀北分院でもプルタブの回収を行っておりますので、当院にお越しの際は、ご協力をお願い申し上げます。



きのかわ支援学校での贈呈式



感謝を伝える松岡看護部長



寄贈された車いす



プルタブ回収箱(当院喫茶コーナー)